

# 「ロータリー財団月間」 「世界インターアクト週間」に寄せて

国際ロータリー第2660地区 ガバナー  
**高島 凱夫**



1917年にアーチ・クラフが「世界に何か良いことをしよう」と呼びかけ設立された“基金”がロータリー財団(The Rotary Foundation ; TRF)です。この財団は、ほぼ全てのロータリアンの献身的な財団寄付金を運用し、私達が日頃行なっている奉仕活動に、補助金というかたちでフィードバックをしています。R財団は「寄付金集金マシン」でないことを、この機会に充分把握していただきたいと思います。

さて、R財団は創設100年を前に、大きく変化しようとしています。2013～2014年度から全世界のロータリークラブで開始される新しい補助金制度=Future Vision Plan(FVP; 未来の夢計画)です。現在、地区財団委員会、FVP委員会におきましては、来年7月からこの新しい補助金制度が、各クラブでスムーズに導入できるように、セミナー開催など献身的な努力をさせていただいています。TRFからの書類も、まだ二転三転していて、その都度大量の書類の整理に委員の皆様方が必死に取り組んでいらっしゃいます。各クラブにおかれましては、今後開催されますセミナーなどにご出席賜り、2013年2月23日に予定されていますクラブと地区との覚書(MOU=Memorandum of Understanding)を締結、2013年7月から、新しい補助金を使用した奉仕活動を多くのクラブが開始できることを期待いたしています。

第2660地区のロータリアンすべてが、財団の本来の目的、FVPなどを十分に理解され、補助金を十分に活用できることを願っています。

インターアクト・クラブ(IAC)は、奉仕と国際理解に貢献する青少年のための、ロータリー・クラブ(RC)提唱の国際的団体で、高校に在学中の生徒、または年齢12～18歳までの青少年が入会できます。Interactという名は「国際的活動」International Actionを意味します。1962年国際ロータリー理事会によりインターアクトプログラムが宣言され、1962年11月5日、アメリカ・フロリダ州メルボルンRCの提唱により、メルボルン高校IACが誕生。この世界最初のインターアクト・クラブは23人でスタートしました。日本最初のインターアクト・クラブは、1963年6月27日に結成された、宮城県の仙台育英学園高校IACです。提唱は仙台東RCで、100人を超える人数で誕生し、日本第1号のこのIACは、当時、世界最多の会員数を擁していました。

ということで、RIは11月5日を含む1週間を「世界インターアクト週間」と定め、ロータリアンとインターアクターがともに国際的な活動に参加するよう呼びかけています。当地区のインターアクト・クラブは、大阪桐蔭(提唱クラブ:大東RC)・浪速(大阪帝塚山RC)・金光八尾(八尾RC)・四天王寺(大阪天王寺RC)・清風(大阪南RC)・相愛学園(大阪RC)の6校が活動を続けています。今年度のインターアクト年次大会は、浪速高校インターアクト・クラブが担当し、11月18日(日)に開催されます。